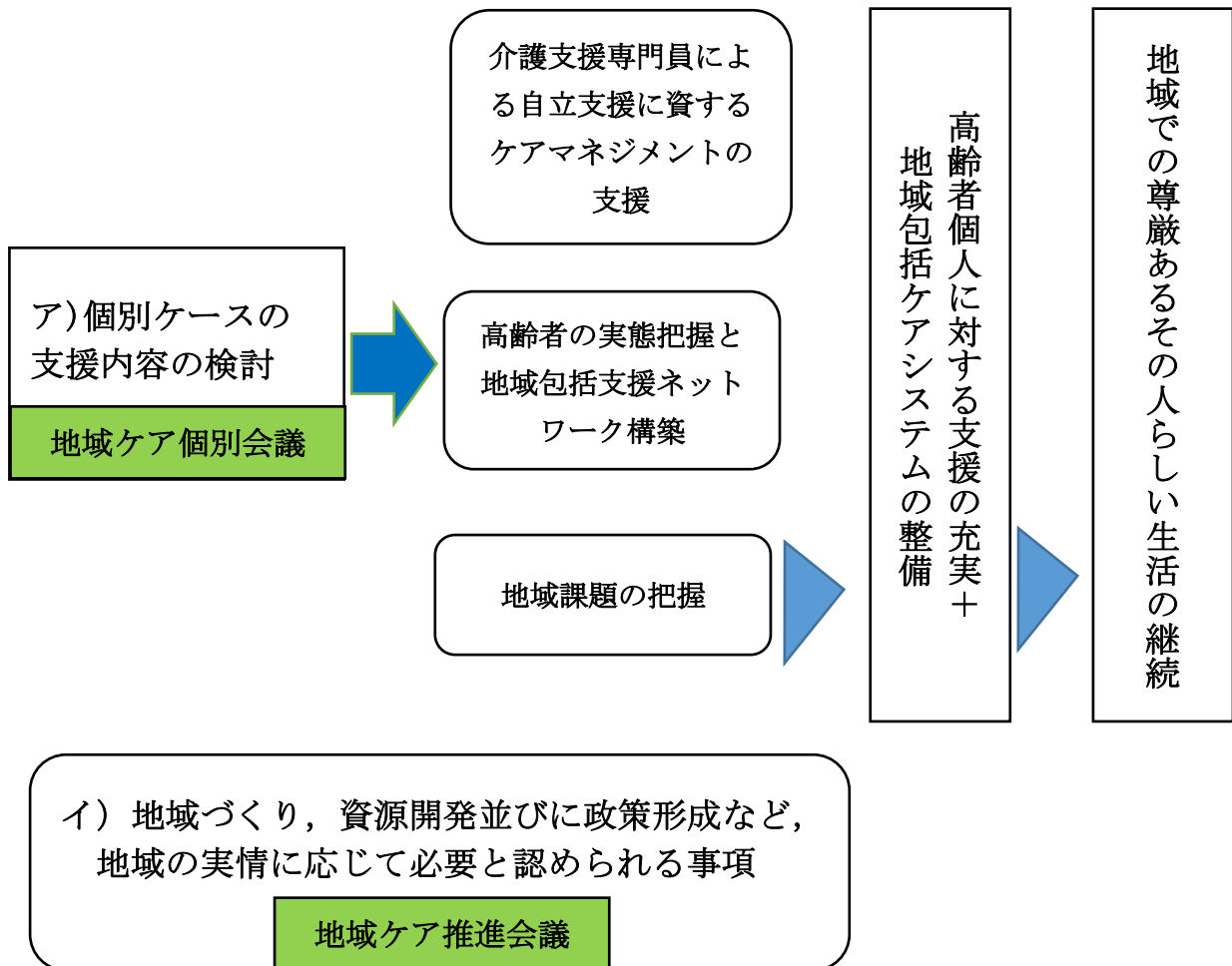


## 地域ケア個別会議から見てきたこと

### 1 地域ケア会議の目的



### 2 令和2年度地域ケア個別会議実績

資料No. 2-2 参照

### 3 個別課題から地域課題へ

地域ケア個別会議で、個人や家族単位の生活課題である「個別課題」を、個人の困りごとで終わらせることなく、地域の複数の人々に普遍的に影響を及ぼすもの、また、社会で対応する必要があると考える「地域課題」を発見し対応していくことが重要となります。

守谷市では、自立支援の地域ケア個別会議を平成30年度から実施しており、今年度までの3年間（28事例）の地域課題をまとめると次のようになります。

## 【地域課題】

項目	内容	件数
通いの場	男性の通いの場	11
	要支援程度の身体状況にある方の通いの場	
	若い世代（60歳後半から70歳代前半）の通いの場	
	歩いて行ける近くの通いの場	
外出支援	外出の同行	7
	外出手段がない方の、外出支援	
見守り	独居で、閉じこもり傾向がある方の見守り	7
	独居で、認知症傾向がある方の見守り	
	認定者でサービスの利用がない方の見守り	
家事援助	家事援助などのサービスの充実	2
その他	多職種の連絡ツールが共有化されていない	1

今回の事例から、地域ケア個別会議の地域課題の中で一番多い通いの場について、掘り下げてみます。今回の事例では、以前は、元同僚や友人等と、ゴルフや趣味などの活動で外出をしていたが、身体が弱くなってくると、「今までと同じようにできない」「周りに迷惑をかける」「(足や腰などが)痛いから外出したくない」などの理由で、閉じこもる傾向にありました。

身体機能の維持や閉じこもり予防から、サロンやデイサービス等を家族やケアマネジャーが勧めると、「まだ、デイサービスに行くほどは、身体状態が悪くない」「外に行く楽しみ(目的)がない」「デイサービスなどで、体を動かすことは良いと思うが、子どもがするようなこと(歌や折り紙など)はやりたくない」「サロンの参加者は、もっと高齢なので、参加しづらい」など理由をつけて、外出や通いの場等を拒む傾向があります。

地域ケア個別会議の事例を振り返ると、少し体が弱ってきたときに、遠出はできなくても、多様な通いの場に外出し、家族以外との交流の機会を維持することが必要と考えます。

### 4. 課題解決に向けて

- ・まちづくり協議会などに問題提起し、男性が参加しやすい通いの場の創出について意見交換することが必要と考えます。
- ・地区の公園や公民館などを会場とした高齢者の健康づくり（保持・増進）教室を計画します。